

【簡易型】

工事名:  
 工種: ○○

企業体名:

会社名①	出資比率	%

会社名②	出資比率	%

会社名③	出資比率	%

評価項目	細目	区分			申請点数	提出書類及び評価方法	提出枚数	
施工計画	・施工上配慮すべき事項	個別工事毎に定める			点	様式第2号 企業体名で作成	枚	
企業の施工能力	過去10年間の同種工事の施工実績	① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =			点	様式第3号(全社分提出) 構成員ごとに評価し、出資比率で按分	枚	
	千葉県所掌工事「工種:○○」における 工事成績の平均点	① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =			点	全社分一覧表を提出 注4) 構成員ごとに評価し、出資比率で按分	枚	
	過去2か年度間の「工種:○○」における 優良工事表彰対象工事	① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =			点	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	枚	
	当該工事関連分野での技術開発の実績 又は 当該工事関連分野での新技術等の活用	技術開発の実績	① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =		点	【どちらか選択】 様式第4-1号(全社分提出)又は様式第 4-2号を提出 技術開発の実績については、構成員ごと に評価し、出資比率で按分する。	枚	
		新技術等の活用	あり	なし				
	ICT活用工事の実施	活用あり	なし		点		枚	
千葉県所掌工事における過去の不誠 実な行為	① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =			点	構成員ごとに評価し、出資比率で按分。点数に ついて、指名停止、文書注意が2回以上あった 場合は、最大減点のみを記入し、算出する。	枚		
配置予定技術者の 能力	主任(監理)技術者資格	あり		なし	点		枚	
	過去10年間の同種工事の施工経験	国・県等の実績	市町村等の実績	その他の実績 又は実績なし	点	様式第5号(評価対象期間の延長がある 場合は様式第6号も提出) 企業体の配置予定技術者で評価 注4)	枚	
	主任(監理)技術者として施工した千 葉県所掌工事における過去4か年度 間の「工種:○○」での工事成績	80点以上の実績あり		なし	点		枚	
	若手技術者・女性技術者の配置	あり		なし	点	様式第7号 企業体の配置予定技術者又は現場代理 人で評価	枚	
	継続教育(CPD)の取り組み状況	あり		なし	点	様式第8号 企業体の配置予定技術者で評価	枚	
地域精通度	過去10年間の当該管内での施工実 績 注1)	① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =			点	様式第9号(全社分提出) 構成員ごとに評価し、出資比率で按分	枚	
地域貢献度	「地震・風水害・その他の災害応急対 策に関する業務基本協定」	① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =			点	様式第10号(全社分提出) 構成員ごとに評価し、出資比率で按分	枚	
	県内企業の活用	1: 県内企業のみ 2: 県内外企業の企業体の場合			点	【どちらか選択】 1 県内企業のみ 2 県内外企業の企業体の場合、更に I 又は II を選択 ( I を選択した場合は様式第11号を提 出)	枚	
		I : 県内企業が下請負予定金額に占める割合 注2) ( _____ ÷ _____ ) × 100 = _____ %						
		II : 企業体構成員のうち県内企業の出資比率に占める割合 注3) ① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =						
	営業拠点の所在地の有無	あり		なし	点	代表者の所在地	枚	
県産品の活用	あり		なし	点	様式第12号	枚		
地域特有貢献の有無	千葉県が管理する公共施設での 地域美化活動のボランティア実績	あり	該当なし		点	様式第13号 様式第14号 様式第15号 様式第16号  (いずれか1件に該当すればよい。 「あり」として申請する1項目の様式のみ、 添付資料とともに全社分提出)	枚	
		千葉県内在住の 障害者雇用実績	あり					
		千葉県内在住の 高齢者雇用実績	あり					
		千葉県内在住の 女性雇用実績	あり					
	① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =			点	構成員ごとに評価し、出資比率で按分			
千葉県所掌工事における総合評価方式での履行義務違反	① 点 × % + ② 点 × % + ③ 点 × % =			点	構成員ごとに評価し、出資比率で按分	枚		

- 注1) 千葉県内での実績を評価項目としている場合は、当該管内を千葉県内と読み替える。  
 注2) (県内企業下請負予定金額合計 ÷ 下請負予定金額合計) × 100 により算出する。  
 注3) 県外+県内の企業体の場合は、(0点 × 出資比率) + (2点 × 出資比率) により算出する。  
 注4) 工事成績の対象は単年度工事のみだけでなく、複数年度にまたがる工事も含まれる。なお、工事成績は工事検査結果通知書の年月日が属する  
 年度で集計する。(発注年度ではない。)

【記入における留意事項】

- 太枠で囲われている「区分」、「申請点数」及び「提出枚数」を記入する。選択項目については○で囲む。
- 工種○○は、資格要件で設定した工種とする。(工事名の下、プルダウンメニューで選択)
- 評価項目に設定されていない項目は、「申請点数」及び「提出枚数」欄に「-」を記入する。
- 枚数とは提出書類(様式を含む)の枚数をいい、提出部数ではない。
- 「様式第4-1号、第4-2号、第6号、第7号、第8号、第9号、第10号、第12号」とその添付資料は、「なし」の場合は提出しなくてよい。また、  
「様式第3号及び第9号」とその添付資料は、「その他の実績又は実績なし」の場合は提出しなくてよい。
- 「様式第11号」は、県内企業のみ  
の企業体の場合又は「県内企業が下請負予定金額に占める割合」が50%以下の場合は提出しなくてよい。
- 発注案件に応じて自由項目設定で評価項目が追加されている場合は、適宜、項目を追加する。
- 一抜け方式入札において、申請点数が工事毎に変わる場合、本書は参加を希望するすべての工事分を作成すること。